

## 全国教研 in 福岡

第68次教育研究全国集会在2月1日～3日の3日間、福岡県で開催されました！湘南教組からは、正会員4名、司会者1名、傍聴者13名が参加しました。

全体集会のオープニングでは、朝鮮学校の生徒たちが、カヤグムという日本の琴に似た楽器で演奏し、参加者を盛大に迎えてくれました。

記念講演は、東京学芸大学の齋藤一久さんによる「憲法改正と教育の未来」で、改憲から見えてくる与党の本質を見抜く必要性や、大綱的基準であるべき学習指導要領がより細かな内容になったことによる、教育の

自由への国家権力の介入を示唆する等、改めて憲法や教育の大切さについて考えさせられる時間となりました。また、集会会場内には各地の夜間中学のとりくみ報告が書かれているパネルが掲示され、夜間中学の現状を知ることができました。



分科会では、全国の参加者から様々なレポートの報告があり、「平和を守り、真実をつらぬく民主教育の確立」をスローガンに、活発な議論が交わされました。湘南教組からは、「日本語教育」「音楽教育」「家庭科教育」「地域における教育改革とPTA」の4分科会に参加し、討議の中で湘南のとりくみを発信しました。



## ♪ キリンビール工場見学 ♪

12月8日（土）、青年委員会の新企画、キリンビール横浜工場見学＆飲み放題ランチへ行ってきました！VRやプロジェクションマッピング等の最新技術を用いた説明に、麦芽・麦汁の試食や試飲など、楽しく見学することができました。見学の最後には3種類のビールを試飲し、工場限定のお土産も買うことができました♪その後は併設のレストランで飲み放題付ランチを楽しみながら、各学校での状況や課題を話し合い、参加者同士で交流を深める時間となりました。



# 2019

## ★スキー・スノボ★ツアー in サンメドウズ清里



1月19日（土）、今年も毎年恒例のスキー・スノボツアーを開催しました。朝7時前に藤沢駅を出発し、渋滞もなく、バスの中でビンゴ大会を楽しみながら目的地「サンメドウズ清里」に到着しました。

スキー場では、リフト待ちもほとんどなく、満足いくまで滑り、スキー・スノボを満喫しました。その後は、温泉に。雪山で冷えた体をお風呂で温めながら、様々な話で盛り上がりました。帰りのバスで

は、組合の意義や現在のとりくみを伝え、参加者で組合の必要性を再確認しました。このツアーは、学校や地域を超えた仲間、職場の仲間との交流を深めることを目的の一つとして毎年企画しています。多くの参加、ありがとうございました。

### <参加者の声>

- 今回初めて参加しました。5000円という安さでバス・スノボ・温泉が楽しめてとってもお得なツアーだったと思います。来年も参加できたらと思います。
- 天候にも恵まれて最高の一日になりました。真っ白な赤岳が一段と綺麗でした。また、滑り終えた若神楼（温泉）での地域を越えた交流は、参加したものにとっては、とても貴重な時間となりました。来年も是非参加させていただけたらと思います。
- 中学校の先生から、生徒への接し方等の話が聞けて、すごく参考になりました。

## 青年委員会学習会（平和学習会）

2月19日（火）に青年委員会の学習会として、広島で被爆された豊永恵三郎さんを講師にお招きして、被爆当日から数日間の状況や、朝鮮の被爆者への支援などお話をいただきました。講話の最後には、豊永さんより「若い人たちに平和憲法を守り、つくってほしい。」「平和教育を通して、今苦しんでいる子どもたちの問題に寄り添い、解決してほしい。」という熱いメッセージをいただきました。



### <参加者の感想>

- 実際に被爆した方から話を聞けると、その時の様子が浮かんで来て、涙が出そうなほどくやしい、悲しい気持ちになりました。爆心地にいたお母様と弟様が生きていらして、健康をとり戻したということを知って、心から良かったなと思いました。
- 正直、初めは気分がのらず、やや暗い気持ちでした。もちろん被爆体験は想像するだけで辛いものですが、その時代を強く生き抜き、今も情熱をもっていられることに感銘を受けました。
- 在外被爆者について初めて知りました。原爆の被害を受けたのは日本人だけだという意識があったのですが、日本の植民地政策などが関わっていたということを知りました。
- 今まで平和学習は、戦争やその背景を正しく学ぶことと思っていました。豊永さんが「今の子どもにも、私たちが原爆で苦しんだことと同じように、別の苦しみがあるのではないのでしょうか。それと対比させて考えてみてください」と言ってくださったのが、目から鱗でした。

# 執行部のつぶやき

とうとう自分がつぶやく番に・・・



組合ってなんだろう？組み合うってなんだろう？書記局で過ごす日々の中で、いつも考えてきたような・・・

組合に入る話になると、いつもメリット、デメリット論になることに違和感をもつ。組合費もかかるし、動員もあるしメリットは？

学校という職場は特殊な場所だなんて。個人だけでなんとかなる場所ではなく、知識や技術の習得だけでうまくいくわけでもなく、今年うまくいったやり方が、来年うまくいくとは限らないし、もっと言えば、今日うまくいったことが、明日うまくいくとは限らない。そもそも、うまくってなんだろう・・・

子どもは日々成長するし、多様な考えの保護者もいるし、また、世の中の流れにも左右される。だからこそ、教職員が協力、協働し助け合うことは必要で、強く繋がっていかなくてはならないのかなって。

クラスの中で、児童生徒が委員会や係を決めるとき、「先生、その委員会やったらメリットありますか？時間も取られるし。」「進路に有利になるなら、やってもいいよ。」「一番楽な係なんですか？」

みなさん、なんて答えます???

きっと、「物事はメリット、デメリットで考えるんじゃないよ。」「いずれその経験や時間が役に立つんだよ。」「誰かがやってくれるから、クラスがまわるんだよ。」「協力することが大事なんだよ。」みたいな話しをするのかな。

組合に入ることも、役員やることも同じかなって。あえて、メリット、デメリットと言うならば、悩んだり、困ったりした時に助け合える仲間がいて、支えられる組織があることが、かけがえのないメリットだなんて。自分が直接ではなくても、入っていることで誰かの助けになるのかなって。日頃は感じないけど、でも、子どもたちに関わる私たちだからこそ、大切にしなければなって。

まあ、こんな感じで考えてきたかな・・・

つぶやく・・・

一人でお酒飲むのも好きで、一人だから見つめられることもあったり、それでいて寂しくなったり、人といたくなったり。でも、でも、考えたり、思ったり、感じたり、一人だよな。

だって、一人ひとりを大事にしたり、一人ひとりを尊重したりするなら、やっぱりどこかで、人って一人なのかなって。

そんな思いを持っている一人ひとりが、接したり、協力したり、思いあったり、するから、人っていいなって。

たくさんの人と出会える、組合って、いいなって思う。だから、次の世代にも、組合を維持したいな。作られた組織じゃなくて、自分たちで作ってく組織だから。

結構、文章にしてつぶやくのって、難しいし、恥ずかしいね。笑

何が言いたいんだろ。こんなんでも大事な教組ニュースの1ページを・・・